

平成25年度広域ヨーロッパ研究センター（WERC）活動報告

広域ヨーロッパ研究センター（WERC）は平成25年度において以下のような活動の柱を設定し、研究をすすめてきた。柱をさらに細分化した項目にわけ、具体的な活動内容を記す。

- ① WERC研究員が担当する授業科目のなかで広域ヨーロッパ研究を意識できるようにするため、定期的に研究会を開催し、研究の交流を図る。
- ② 本研究組織を構成する研究分担者にくわえて外部の研究者等も招聘し、学生も交えて、特別講義、パネルディスカッション、ワークショップなどを開催する。
- ③ これまでに作成した「European Studies 関連科目」のリーフレットやウェブサイトを増やし、学内外にむけて「広域ヨーロッパ研究」を発信する。
- ④ 特別講義や研究会等の様子を Ustream などのメディアをつうじて配信する。

■ 講演会・ワークショップの開催

講演会・研究会・ワークショップを「学際的広域ヨーロッパ研究」を共通テーマとして開催した。個別のテーマは以下のとおりである。

1. Guillaume Duseigneur（リール政治学院からの交換教授、2013年7月9日・10日）
「2012年大統領選挙とオランダ政権の1年」
“What does it mean to be an European Parliament Member (MEP)? A sociological approach of a new political role”
2. 上原史子（中央大学大学院公共政策研究科兼任講師、2013年7月11日）
「ヨーロッパの気候安全保障」
3. ショゴール・チャボ（欧州議会議員、2013年7月17日）
「EU内のハンガリー人ディアスポラ」
4. 鈴木真紀（NPO法人世界遺産アカデミー認定講師・日本外国語専門学校講師、2013年11月1日）
「英国の世界遺産から学ぶべきこと——世界遺産の現状と未来——」
5. エギディウス・メイルーナス（駐日リトアニア大使）
“Lithuanian Presidency of the EU: Credible, Growing and Open

Europe”

6. ギュルセル・イスマイルザーデ（アゼルバイジャン共和国特命全権大使、2013年11月26日）
「アゼルバイジャンの外交政策」
7. 栗田秀法（名古屋大学大学院文学研究科教授、2013年12月4日）
「ニコラ・プッサンの絵画を読み解く」
8. ティム・ゴイトケ（ブレーメン経済工科大学教授、2014年1月8日）
“Lessons from the European Integration for Asia”

■ WERC 公式ウェブサイト (<http://werc.u-shizuoka-ken.ac.jp>) の運営シンポジウムと講演会・ワークショップの告知と記録の公開をおこなった。

■ WERC 研究会と「広域ヨーロッパ論」共通テキスト

広域ヨーロッパ共通テキスト（電子ブック）の作成に向けてセンター内の研究会を開催し、研究員それぞれの専門領域の研究動向と課題、今後の展望について情報の交換と共有に努めた。

- ◇ 第1回：本田悦郎研究員「アベノミクス」（2013年6月4日）
- ◇ 第2回：栗田和典研究員「犯罪と司法からみる18世紀のブリテンとヨ

ーロッパ」(2014年1月7日)

■ 教育関連資料の提供

Ustream によるセンター研究員の講義の試験的な配信および研究員のゼミの参加を得た合同ゼミ学生発表会の学内外への配信をおこなった。

- ◇ 「英語で読む英米文化入門 A」(2013年7月17日)
- ◇ 「合同ゼミ学生発表会」(2013年12月3日、SNSによる告知)

■ 「内なる国際化」および協定校との学術交流の推進

ボアジチ大学からの留学生2名による発表が合同ゼミ学生発表会においておこなわれた。

■ リール政治学院との交換教授

7月にリール政治学院の Guillaume Duseigneur 教授が本学に来訪し、いくつかの講演を行った。11月4日から8日にかけて、小窪千早研究員がリール政治学院にて、「Relationship between Japan and EU/NATO」というテーマで集中講義をおこなった。

■ ブリュッセル自由大学 (ULB) との学術協力活動

互恵的な関係を確認しながら、学生・教員の相互交流をうながすために ULB の他部局との協力体制を検討した。11月に小窪千早研究員が ULB の社会科学・政治学部の De Waele 学部長らと会い、ULB の IEE に加えて同学部と本学とのさらなる協力の可能性について意見交換をおこなった。

■ WERC 研究員の国際会議参加

- ◇ 六鹿茂夫研究員がリトアニア政府の招待で、EU 東方パートナーシップ市民社会会議に参加した。(2013年11月27日~29日)
- ◇ 2014年2月に佐藤真千子研究員が

MGIMO において学術交流をおこなった。主にヨーロッパ・アメリカ研究学科の学科長・その他教員らと研究交流をおこなった他、ジャーナリズム学科のセルゲイ・チュグロフ教授の授業において講義、学生との議論をおこなった。

- ◇ 2014年3月に佐藤真千子研究員がボアジチ大学において、国際交流委員長および国際交流担当者らと交流事業に関する協議を行い、トルコ政府へ国際交流助成を申請する取り組みなどについて確認しあった。また、政治・国際関係学科の G.クット教授と今後の交流について意見交換を行い、今年度本学へ派遣される学生とも留学支援の一環として面談をおこなった。
- ◇ 2014年3月に西山克典研究員がボアジチ大学を訪問し、S.エセンベル教授が名誉センター長を務めるアジア研究センターの方々の協力を得て、戦間期亡命ムスリムとトルコ共和国の関係について研究調査を実施した。また同センターの研究活動や保存資料(未公開資料など)の活用に関して話をうかがい、今後の学術交流について意見交換を行った。

リアル政治学院派遣教員による連続講義

2012年にリアル政治学院と合意した、次世代政権の育成のため、先方からGuillaume Duseigneur 講師の派遣を受けることになりました。つきましては、下記の日程で連続講義、懇話会、合同研修を開催いたしますので、お知らせいたします。講師はすべて英語で発表となります。大塚 隆に英語でも講演については日本語通訳付きフランス語で対応します。講義後の1対1合同研修、懇話会には参加しなくても、奮って参加頂けますよう、ご案内申し上げます。

国際交流基金リアル政治 講師名簿

2013年7月8日(月) 5限 (国際政治学ⅠA)
How should we consider Obama's smart power? 3307教室

7月9日(火) 2限 (現代ロシア、東欧諸国、ヨーロッパ文化論ⅠA)
The EU as an international actor: the East-Mediterranean dimension 3314教室

7月9日(火) 3-4限 (経営ⅠA)IA
フランス発せりの合同研修：学生による報告と講師のコメント 3314教室

7月9日(火) 5限 (広域ヨーロッパ研究センター定例公開講座)
2012年度大統領選挙とフランス大統領の1年 (広域講座、聴取付き) 3316教室

7月10日(水) 3限 (国際政治学ⅠA)
Is it relevant in 2013 to talk about an EU Diplomacy? (Policy of the European Union and its Member States) 3316教室

7月10日(水) 4限 (現代ヨーロッパ論A)
What does it mean to be an European Parliament Member (MEP): A sociological approach of a new political idea? 3308教室

なお、7月8日の講義の後、18時半頃から講師6人と懇話会(合同研修)を予定しております。こちらに参加頂けずの方は事前に料金をご一振くださいとなります。

広域ヨーロッパ研究センター主催



リアル政治学院派遣教員講演会
2012年大統領選挙とオランド政権の1年

講師: Guillaume Duseigneur (フランス共和国)
日時: 7月9日(火) 16時20分～17時50分
場所: 3316教室 (http://www.wpi.ac.jp/~center/)
詳細はWebサイト(2013年度)

広域ヨーロッパ研究センター(WERC)特別講義のお知らせ

下記の日程で特別講義を開催します。どなたでも聴講可能ですので、ふるってご参加ください。

記

テーマ: ヨーロッパの気候安全保障
日時: 平成25年 7月 11日(木) 14:40～16:10(4時限)
場所: 3108教室 (国際関係学部棟1階)
講師: 上原史子 氏 (中央大学大学院公共政策研究科兼任講師)

以上

主催: 国際関係学部3316広域ヨーロッパ研究センター (WERC)
問い合わせ: 田嶋真千子 (1208 研究室、内線1383)
mailto:tkshiko@shizuoka.ac.jp

広域ヨーロッパ研究センター講演会

講演者
ショーゴル・チャバ (Sogor Csaba) 氏
欧州議会議員

演題
Hungarian Diaspora in the European Union
(EU内のハンガリー人ディアスポラ)

英語(通訳無し)

開催日時
7月17日(水) 2限(10:40～12:10)

場所
国際関係学部棟3316教室

主催: 広域ヨーロッパ研究センター (WERC)

問い合わせ先: 同センター長、教授 六瓶 茂夫
mutusika@shizuoka.ac.jp

特別講義
「英国の世界遺産から学ぶべきこと
—世界遺産の現状と未来—」



講師: 鈴木真紀 (真子) 氏 (NHK地球探検隊アカデミー一級講師)

日時: 2013年11月1日(金) 14時40分～16時10分

場所: 国際関係学部棟3階 3315 講義室

2013年9月、「富士山(世界遺産の対価と世界の遺産)」が、日本に初めて17件の世界遺産としてユネスコに登録された。日本人の世界遺産への関心は増加、地味分野においても、そのレベルも以前に高くなっていると考えます。物産などを巡って、「世界遺産」の本来の意義や役割についても明らかにすることが大切です。

本講義では、英国の世界遺産を題材に、世界遺産の現状と将来について考えたいと思っています。英国には、現在5件の世界遺産が登録されており、そのうちアップルは2件あり、ユネスコが自国が世界遺産のありかを見守り続けてきた。しかし、昨年、英国の世界遺産、数ヶ所(世界遺産)と多くの世界遺産が登録された。それは何故だろうか?本講義で学ぶこと。ぜひ皆さんの力で世界遺産の未来を築いてください。

問い合わせ先: 東山 (Email: yoneyama@wpihizuka-ken.ac.jp)

広域ヨーロッパ研究センター講演会

講演者
ギギディユス・メイルーナス
駐日アゼルバイジャン共和国特命全権大使

演題
Lithuanian Presidency of the EU: Credible, Growing and Open Europe
(EU議長国リトアニア—信頼され、成長する、開かれたヨーロッパ)

英語(通訳無し)

開催日時
11月13日(水) 4限(14:40～16:10)

場所
国際関係学部棟3108教室

主催: 広域ヨーロッパ研究センター (WERC)

問い合わせ先: 同センター長、国際関係学研究科教授
六瓶 茂夫 (むつしか・しげお)
mutusika@shizuoka.ac.jp

広域ヨーロッパ研究センター講演会

講演者
ギョルセル・イスマイルザダ (Gursel Ismayilzade)
駐日アゼルバイジャン共和国特命全権大使

演題
「アゼルバイジャンの外交政策」
(Foreign Policy of Azerbaijan)

使用言語 日本語

開催日時
11月26日(火曜) 2限(10:40～12:10)

場所
国際関係学部棟3314教室

主催: 広域ヨーロッパ研究センター (WERC)

問い合わせ先: 同センター長、国際関係学研究科教授
六瓶 茂夫 (むつしか・しげお)
mutusika@shizuoka.ac.jp

ニコラ・プッサンの絵画を読み解く
大学院特別講義



絵解きの難解さと面白さ
Poussin

栗田 秀法 (名古屋大学大学院文学研究科・教授)
2013年12月4日(水) 16時20分から 一教養有様2103講義室

※「比較文化論A」(立田洋司先生)の講義で実施します。

問い合わせ: 栗田 (kunita@shizuoka.ac.jp)

2013年度後期 英語による特別講義

“Lessons from the European Integration for Asia”

Tim Goydke
(ティム・ゴイトケ)
Bremen University of Applied Sciences
ブレーメン経済工科大学教授

日時: 2014年1月8日 14時40分～16時10分(4時限)
場所: 3108号教室 (現代ヨーロッパ論B)



ティム・ゴイトケ (Tim Goydke) 先生
(ブレーメン経済工科大学 教授)
1971年 フランクフルト出身 (ドイツ) 出身
ブレスゲル大学(経済学)専攻(重点) 日本(神田の経済学)
2003年 フランカーン経済工科大学(経済学)専攻
(専門:日本の経済学/社会)

主催: 文庫: 広域ヨーロッパ研究センター(WERC)・国際交流基金